

令和7年度 全国学力学習状況調査からわかる 本校の傾向と課題について

羽曳野市立 白鳥小学校

【調査の目的】

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらにそのような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【国語】

本校の国語における平均正答率は、全国をわずかに上回る結果となりました。

その中でも、課題があるのが1設問1の「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討できるかどうかをみる」問題でした。

インタビュー等の話し合い活動を進める際に、相手から聞きたいことを引き出すために、質問したい内容を分類したり関係づけたりしながら、必要に応じて記録することで、話し合い活動の流れを整理することが大切であると言えます。

また、1設問2の「情報と情報との関係づけの仕方を理解し使うことができるかどうかをみる」問題でも誤答が多くありました。

インタビューにおいて質問する内容を整理する際に、線や囲みなど図示することによって自分なりに情報を整理できるようにすることも大切です。

記述式問題については、2問ある中で全国平均をかなり上回りました。これまで記述式問題に課題がありましたが、日常の授業より、「書くこと」に重点を置いてきた結果、子どもたちも書くことに抵抗なく、設問に正対した答えを書くことができていたと言えます。無解答率の低さにもそれが表れています。発達段階に応じた系統性を持たせ「書くこと」を大切にしてきた授業づくりの成果が感じられる結果となりました。

今後も上記の課題と向き合い、基礎・基本を大切にした授業づくりをはじめ、「書くこと」をベースに自分の考えをまとめ、まとめたことを「話し合う、伝え合う授業づくり」をめざしていきます。

【算数】

本校の算数における平均正答率は、全国よりもわずかに上回る結果となりました。

しかしながら今年度については、「図形」領域に課題があることが、傾向としてみられました。

2設問（2）の「台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる」問題で誤答が多くありました。置き方をいろいろ変えて示されたいくつかの四角形の中から台形を見分ける問題でしたが、図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目しながら、なぜその四角形が台形なのか、その理由を説明する活動などを取り入れる必要があると考えます。

2設問（4）の「基本図形に分割することのできる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる」問題においても課題が見られました。多角形の面積を求める際に、基本図形に分割するなど、面積の求め方を知っている既習の図形を見いだして、面積の求め方を考えることができるようにすることが大切です。

改めて基礎・基本の学びを大切にするとともに、授業では例えば、図形や計算など、ただ公式の暗記に終始するのではなく、その公式の意味や性質を理解し活用できるようにすることや、問いに対して自分の考えを筋道立てて説明する活動なども大切にしていきます。

【理科】

本校の理科における平均正答率は、全国よりも上回る結果となりました。

特に「エネルギー」を柱とする領域では、全国平均を大きく上回っています。

課題が見られたのは、「地球」を柱とする領域で「観察、実験の結果を基に、問題に正対した自分の考えを表現する」ことでした。観察、実験の結果を基に自分の考えを表現するためには、根拠となる結果を整理し、具体的な数値を基に、より妥当な考えをつくりだし、表現していくことが大切であると考えます。

【児童質問紙と各教科から】

○毎日朝ご飯を食べている・・・よくあてはまる 75.0%

この項目で、「よくあてはまる」と回答した児童の各教科の正答率が高い傾向がありました。

○毎日同じくらいの時間に寝ていますか・・・よくあてはまる 36.1%

どちらかといえばあてはまる 30.6%

約 67%の児童が寝る時刻を決めて睡眠をとっているという結果でした。この項目で、「あてはまる」と回答した児童の各教科の正答率が高い傾向がありました。

○自分にはよいところがあると思いますか・・・よくあてはまる 75.0%

どちらかといえばあてはまる 8.3%

この項目で、「あてはまる」と回答した児童の各教科の正答率が高い傾向がありました。

○自宅には本がどれくらいありますか（教科書は除く）

本の冊数が増えるにしたがって、正答率が上がる傾向がみられました。

以上の結果を踏まえ、今後の各教育活動にいかしていくとともに、引き続き、朝読等、本に慣れ親しむ活動を続けていきたいと思ひます。また、子どもたちに規則正しく生活することや、自他を受け入れ、さらに自分のよいところを伸ばしながら成長していける授業づくり、集団づくり等を大切にしていきたいと思ひます。